



発行  
宮崎県立高鍋高等学校  
同窓会

宮崎県児湯郡高鍋町  
大字北高鍋4262  
TEL 0983・23・0005  
FAX 0983・23・5096  
URL http://www.narumigaoka.jp/

# 母校を想う

高鍋同窓会「鳴海ヶ丘会」会長  
増田 秀文



鳴海ヶ丘会 会員の皆様  
におかれま  
しては、ま  
す御健勝  
のこと御喜  
び申し上げ  
ます。また  
常日頃から  
同窓会活動  
に御理解と  
御協力を賜  
り厚く御礼  
申し上げます。  
さて、平成  
25年の恒例  
のOB祭は「  
つなぐ、刻  
(とき)を越  
えて」とい  
うテーマの  
もと石村幸  
広実行委員  
長を中心と  
して平成2  
年卒業の皆  
様が担当さ  
れました。

このテーマには、先輩方が築いてこられた伝統や母校への想いを次の世代と共有していきたいという想いがこめられています。  
8月9日の宮崎座論壇GCCにおけるOB祭ゴルフコンペ、8月10日には、鳴海ヶ丘会総会に引き続き、OB祭が開催されました。今年度は、和太鼓「漲(ちよつ)」によるオープニングイベントの後、蛇原友里さんの記念トークショーが開かれ、会場からは「えびちゃん」の登場に歓声がわき上がっていました。その後大懇親会には、多くの同窓生の参加を頂き盛大に開催されました。素晴らしい企画、運営をして頂きました。平成2年卒の皆様改めて感謝申し上げます。

さらに、OB祭を迎えるにあたり、実行委員会の方々も「鳴海ヶ丘会館」と「高鍋高校の中庭」の清掃をさせて頂きました。彼らの母校への熱い思いを改めて感じた次第です。  
今年、平成26年は、平成3年卒の皆様も担当して頂きます。古川 誠実行委員長のもと魅力ある素晴らしいOB祭を期待しております。

OB祭を期待しております。総会におきまして、会員の皆様より様々な御意見を賜りました。鳴海ヶ丘会館の使用法や改修についての件や「魅力ある高鍋高校づくりを考えた」に対する要望、また同窓会の学校支援の在り方、高鍋高校の教育理念であります「文武両道」に対する御質問、また同窓会総会の在り方についての件等、母校を思う会員の方々から御意見を有りがたく思った次第です。これからは高鍋高校発展のために、これらの御意見を参考にしていきたいと考えます。

現在「鳴海ヶ丘会」にて、奨学生を育成しております。今年度2人目の奨学生が誕生致しました。  
その基金は「明倫奨学金」として、その目的に賛同頂ける有志の方々のご寄付金によって賄われるものであり、今年度も多くの有志の方々をはじめ、各支部同窓会や還暦を迎えられる昭和47年卒の方々、また今年度OB祭実行委員会の方々により寄附をして頂きました。本当にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

平成26年度のOB祭を担当します平成3年卒業生を代表し、一言ご挨拶申し上げます。私たちは昨年5月に準備委員会を発足し、組織体制等について協議を重ね、10月に実行委員会を正式に設立しました。その後、県内外の各支部総会にお邪魔させていただきました。来たる8月15・16日のOB祭への協力をお願いしました。また、1月2日には同窓会を開催し、久々の再会を楽しみ、一方でOB祭に向けて同窓生の意志統一を図りました。

## 平成26年度OB祭

事務局長 脇本 泰蔵

平成26年度のOB祭のテーマは「縁(えん)」。縁(えん)は、縁(えん)に決定しました。伝統ある高鍋高校OB祭が、私たちがこの世を生を受けた昭和47年度に記念すべき第一歩を踏出したことに強い「縁」を感じ、「同窓生」の私たちが担当することになるまで脈々と受け継がれてきたことに深く感謝を受け、先輩方がそうであるように、私たちが後に続く者(後輩)たちの道しるべとならなければならぬと強く認識し、このようなテーマを掲げた次第です。

私たち同窓生は、このテーマを体現できるような一丸となる精神を取り組んでまいります。今後とも一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年度高鍋高校OB祭実行委員会役員名簿

番号	役職	氏名	職名
1	実行委員長	古川 誠	
2	副実行委員長	黒本 美徳	
3	事務局長	脇本 泰蔵	
4	事業推進局長	増田 秀文	
5	事業運営局長	高山 弘宗	
6	会計部会長	落合 光秀	
7	総務部会長	杉 智博	
8	クラス役員部会長	中村 正樹	
9	販売部会長	高橋 元廣	
10	広報部会長	瀬川 幸雄	
11	企画運営部会長	石田 耕作	
12	ゴルフ部会長	押川 仁彰	
13	懇親会部会長	森本 直樹	

### 同窓会育英会表彰者

普通科 馬渡 大輝 (303)  
河野 航大 (304)  
金丸 実優 (306)  
生活情報科 大木結紀子 (307)  
おめでとうございます。これからもますます頑張ってください。

## 米沢興讓館高等学校との学校間交流

2017 新田 佳子

高鍋高校生徒会執行部は、学校間交流の一環として昨年の10月23日、24日の2日間、米沢興讓館高等学校を訪問しました。この交流は、今年2泊3日で行われ、2泊3日という短い時間でしたが、たたくさんのおもてなしを受けた充実した2日間を送ることができました。来年は迎えるかわりませんが、今後は台風の影のため残念ながら1泊2日の交流となりました。



生徒会交流では、お互いの学校の行事や生徒会の仕事を知ることができました。クラス交流では、パワーポイントを使って宮崎や高鍋の事を紹介したり、クラスで考えてくれたゲームをしたりしました。校内見学では、生徒一人一人の自立や高鍋高校との違いに驚かされました。二日目は、資料館や場所に行き米沢の歴史や文化に触れることができた。

## 2014年度センター試験を振り返って

高鍋高校進路指導室 那須 雅博

大学入試センター試験が1月18日、19日に、宮崎公立大学で実施された。本校からは175名の生徒が受験した。大学入試センター試験の平均点では、昨年度より数学1Aと化学がアップ、国語と生物がダウン。文系には厳しい入試であった。古典は平安時代の典型的な文法で、登場人物の発言内容を正しく読み取ることが難しい。漢文はなじみの少ないテーマの随筆であった。数学IIでは高い計算力が要求された。生物では問題のページ数が増え、問題文の分量や図と表の数も増加した。



センター試験を突破するためには、学習内容に対する深い理解と高い計算力、図や表を読み取る力など、総合的な力が要求される。今後とも、充実した授業の展開と、学習内容の定着を図り、文武両道の下、取り組んでいきたいと思います。

## 地域学習について

地歴公民科 森岡 真人

本年度の地域学習は、昨年12月10日(火)と12日(木)に実施されました。昨年度までと約一ヶ月遅れでの実施のため寒さが心配されましたが、幸い天候に恵まれ、生徒たちは戸外での昼食を楽しんでいました。見学地は昨年と同様に黒木本店(酒造)、石井記念友愛社、西都原考古博物館、高鍋町歴史資料館でしたが、どの見学地においても例年以上に熱心に説明に耳を傾ける姿が見受けられました。西都原考古博物館は訪問経験者が最も多い場所ではありますが、芸員の方の古墳及びその歴史についての大変分かりやすく当を得た説明に興味を



ひかれた様子でした。また黒木本店では工場長様から「様々な質問を積極的にする意欲的な生徒たちですね。」という言葉もいただきました。ご多忙な中を説明していただいた見学の皆様や引率の一年学年団の先生方、ご協力本當にありがとうございました。

## ラグビー全国大会に出場して

高鍋高校ラグビー部監督 山本 巧

第93回全国高校ラグビー大会に出場した際にはたくさんのご支援援助をいただいたこと深く感謝いたします。10人の3年生を中心によくまとまり、全国でもかなり小柄な部類ながらそのハインドを感じさせない戦いぶりを選択したことは見せてくれました。一回戦札幌山の手高校戦では雷雨で30分待機順延というアクシデントもありました。前半はほとんど自陣に釘づけになり、体の大きな選手に2人3人とタックルし続け0-5でリードされて折り返しました。後半自分たちの形に持ち込み同点に迫いつき、押し寄せムード。しかし相手の圧力や焦りなどからなかなか取り切れず、一瞬の隙を突かれて再逆転を許します。それでも決してあきらめず最後の最後まで全力を尽くして戦い抜きました。結果は5-15で一回戦敗退。目標の「正月は花園」で達成することができ、一度も勝つことができなかったことを去りましたが、負けに勝ったことももちろんありますが、このチームでもラグビーができないことがとても寂しく、特に3年生は3年間の集大成で、試合に出られないものもいました。何より、自分たちの力がなかなか発揮できなかつたことに、悔し涙を全員が流しました。選手たちは本当によく戦ってくれました。ここまで厳しい練習に耐え抜きました。皆よくまとまりまだ可能性のあるチームでした。それでもあと一つが取り切れない全国の壁の高さを痛感しました。目標達成はならずとも、ここで得たものは大きかったし、こうして大舞台で最後まであきらめることがなく駆け回っ



たくさんの方々への感謝の気持ちをお返し、そのご恩を返すのは卒業する3年生が各方面で高鍋ラガーの誇りを胸に活躍して頂くこと、後輩たちが今までの以上に努力をし、今年もまた花園に戻り果たせなかつた夢を叶えること、そして今まで以上に応援してもらえないようなチームにならないことだと思います。今後とも精一杯がんばりますので更なるご支援よろしく申し上げます。ありがとうございました。

# 支部総会報告

## 福岡支部総会報告

福岡支部事務局長 原 誠子

福岡支部総会は11月30日にクリオコート博多にて開催しました。橋口副会長や首藤校長より母校についての様子や、名古屋支部の活動状況について福岡支部長から支部などを聞かせていただきました。その後、支部活動報告・会計報告等を行いました。今回は、役員改選と会則の一部変更も同時に協議しました。20年にわたり御尽力頂きました児玉支部長の退任と、井本新支部長(S47年卒)の就任が決まり次年度からの新体制も皆様より承認されました。

その後懇親会へと移り、皆で近況を語り合い、なごやかなひと時を過ごす事が出来ました。今年にはピンゴゲームを楽しみながら参加して下さった方々に賞品をお配りし、笑い声が続きなかに時間を惜しみつつ閉会しました。事務局を任せられて5年目になりましたが、児玉前支部長に叱咤激励をいただいたお陰で現在に至っています。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。これからは新福岡支部を、井本新会長のもとで他の役員と共に、創意工夫を加えながら支部総会を盛り上げたいと考えています。今回御出席頂きました来賓の方々、支部役員、新旧OB祭実行員の皆様にもお礼申し上げます。

## 名古屋支部総会報告

名古屋支部事務局長 福本 秀和

平成25年度の名古屋支部総会を、11月16日アパホテル名古屋錦店に35名参加で行いました。

当日は高鍋より増田会長・首藤校長・猪股事務局長に出席いただき、入進学状況と育英奨学金への協力要請、探求科学コースの新設、スポーツ・文化部の活躍状況、そして少子化対策への取組みなど、学校内容を詳細に伺いました。

本年度は支部の役員改選期にあたり、2期6年会長を務められた栗崎教雄(35年卒)が勇退し、金丸節夫(41年卒)へとバトンタッチしました。在京支部の中野会長はじめ、各支部との情報交換が行われたのは幸いでした。又OB祭実行委員の方々5名と、名古屋在住の来年度担当の方2名が出席され、「つなぐ、

## 宮崎地区支部合同同窓会報告

宮崎地区支部部長 緒方 克則

宮崎地区は、宮崎地区支部(緒方克則支部長)、宮崎県庁支部(花坂政文支部長)、宮崎県役所支部(樋口和彦支部長)が、合同で母校の支援と卒業生相互の世代を超えた交流、情報交換等を目的に、平成19年から、合同同窓会を開催してきました。また、三支部は以前から連携して寄付金募集など母校の支援事業に取り組み、実績を上げてきました。



## 高鍋支部総会報告

高鍋支部部長 山本 邦紘

本年度の高鍋支部総会は講演会を高鍋美術館で、懇親会を四季亭での開催となりました。一部の講演会では91名の支部役員が集まり、宮崎県教育長の飛田洋先生をお招きしての開催となりましたが、先生の高鍋高校を想う心と子供たちの持っている素質を如何に伸ばしていくかの熱い気持ちの籠った講演をして頂きました。

ご存知のように先生は高鍋高校の卒業生でもあります。先生のような先輩がいることは高鍋高校生にとって心強く、また誇りに思えることだと思います。先生には大変ご多忙の中有難うございました。健康に留意され宮崎県の教育のために頑張ってくださいと思います。

二部は62名の関係者に参加頂き、楽しい懇親会となりました。講演会終了後は、高尾日出夫先輩の乾杯でいよいよ懇親会の開催です。学校の思い出話や、それぞれの近況報告、情報交換、今の高鍋高校への想いなど、時間を忘れて、楽しい時間を過ごして頂きました。最後に飛田明先輩の万歳三唱で終了しました。



最後は、飛田宮崎県教育長がユークラスに会を締めくくり、来年度の再開を約束して閉会しました。合同同窓会には、三支部の支部長と事務局スタッフ、司会の脇谷さん、会場前からの打合せを始め、会員の案内、出席者の把握、資料作成等の準備をして、当日は、各支部手分けして会を運営します。皆さん、仕事の合間にやるので大変ですが、母校の発展を願う出席者の思いに支えられて頑張っています。毎年、反省するのですが、次回は、できるだけ多くの会員に声をかけ、魅力ある会にし、出席者を増やして、交流と母校支援の輪を広げたいと考えています。宮崎地区同窓会員の皆様の出席をお願いします。

「わが高鍋の名において」日々自分を振り返り、勝負の時は「わが高鍋の名において」力いっぱい戦ってください。現役生徒諸君の健闘を祈ります。高鍋高校同窓会事務局の皆様には大変お世話になりました。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。



## 川南支部総会報告

川南支部部長 宮崎 吉敏

川南支部総会を各学年幹事の方々に御集まり頂き、平成25年8月27日に開催致しました。事業報告、及び、収支報告、をご承認頂き、明倫育英会への5万円寄付を、又、支部交流会を11月9日に開催することも、決定致しました。

支部交流会はフライダルホール乃屋において、ご来賓に副会長多賀学昭氏、高鍋高校事務局長森隆茂氏、川南町長日高昭彦氏、顧問税田格十氏、鳴海ヶ丘会事務局長猪股氏、をお迎えし総勢86名の出席で盛況に開催致しました。又、宮崎支部長から、多賀副会長へ明倫育英会奨学金を寄贈致しました。

記念講演に大先輩で顧問でもある石井十次顕彰会、理事長税田格十氏による、「石井十次と鍛錬主義の信念」と題して、ご講演を頂きました。地元の人であり、孤児の父として、波乱万丈の人生を過ごし、福祉に目覚めた経緯や、川南町にも開墾者として、ご縁があったこと等、大変素晴らしい講演をして頂きました。1時間及ぶお話を聞いて、誰一人雑談することもなく、参加者全員、真剣に聞いて頂き、税田大先輩の講演はもちろんの事ですが、支部の皆さまの聞く姿にも、感動致しました。ありがとうございました。

後の遅い時間からの開催にも関わらず多くの方々に参加頂き、大いに盛り上げて頂きました。皆さんの高鍋高校に向けた熱い思いが溢れる高鍋支部の総会になったことに厚くお礼を申し上げます。同窓会全体の大きな問題として高鍋高校に入学する子供たちが減少していることがあります。地元の支部として一番のテーマでもあります。今回の総会での皆さんの大きなパワーを活かし、このテーマにも臨んでいきたいものです。今後とも高鍋支部に対するご支援とご協力を願っています。



## 事務局からの連絡



平成25年度OB祭実行委員会より学校に楽器を寄贈、また明倫奨学金を金に寄付していただきました。ありがとうございました。

### 平成25年度明倫奨学金寄付者

関西支部、川南支部、ほとくり会、還暦同窓会(昭和47年卒業生一同)平成25年度OB祭実行委員会 敬称略

※寄付者の公表は、同窓会支部、OB祭実行委員会、卒業生一同様に限らせて頂いております。企業及び個人の寄付者の公表は行っていません。

## 明倫奨学金報告とお礼について

同窓会事務局長 猪股 司

明倫奨学金に多くの有志の方々より寄付を賜り、誠にありがとうございます。この奨学金制度は皆様の寄付金によって賄われております。どうか今後とも変わらぬ御支援のほどお願い申し上げます。

## なんきんはぜ

本校に勤務させて頂いて7年が過ぎようとしています。毎日先生方や、特に生徒たちとの絡みがすごく楽しく、若返るようです。

先生たちには見せない、生徒の素顔、本音、時には悩みもポロッと口に出すことも。私にはそれを聞いてあげることも、私にはできないけれど、生徒たちの癒しの場にもなればよいなと思っています。もちろん挨拶できない、礼儀がなっていない子には一喝もありますよ(笑)

私の高鍋高校在学中は波瀾万丈と言いか、辛いことしか無かったような。

合唱部で練習中の天窓落下事件。現在の音楽室は私が作ったんですよ。と前任の音楽の先生と大岐先生には語り継いでます。

最後に、我が息子、娘が本校の野球部でお世話になったせいか、今でも野球部びいきです。願わくば、在任中に甲子園に行つてほしいです。

(M・H)

## 部 活 動 実 績

大会名	競技・部名	競技種目・成績	氏名	
第93回全国高等学校ラグビーフットボール宮崎県大会	ラグビー部	優勝		
	ホッケー部	優勝		
	空手道部	男子団体組手	3位	
		男子団体形	3位	
		女子団体組手	3位	
		女子個人組手	3位	島田 知佳
	ボート部	女子個人形	3位	島田 知佳
		男子ダブルスカル	第1位	渡部 健斗 児玉 敏明
		女子ダブルスカル	第1位	岩切 陽香 谷口 亜留奈
		男子シングルスカル	第1位	井之上 直生
宮崎県高等学校2年生大会	女子シングルスカル	第2位	佐藤 和佳	
	女子5.0Mバタフライ	3位	中武 玲	
平成25年度東北高校生秋季大会	バドミントン部	シングルス経験者の部 第3位	三輪 珠美	
	男子バレーボール部	第2位		
第平成25年度宮崎県高等学校総合文化祭宮崎県大会	放送部	オーディオビジュアル部門 第1位 ビデオメッセージ部門 第3位 アナウンス部門 第4位	山田 捺加	
	吹奏楽部	優良賞 優秀賞 優秀賞	佐光 千沙 恵利 芽衣 高橋 佳大	
	書道部	奨励賞	吉岡 涼子	
	文芸部	文芸誌部門	最優秀賞	
		散文部門	優秀賞	溝口 愛希
		短歌部門	奨励賞	溝口 愛希
	美術部	詩部門	優秀賞	早田 菜里香
		準特選九州大会選抜賞		生島 絵美子 永友 優実
	JRC部	国際ボランティア部門	スピーチコンテストの部 優秀賞	村中 李帆
		国際ボランティア部門	研究発表の部 奨励賞	日田 ゆか子
吟詠剣詩舞部		最優秀賞	坂元 菜々	
	テレビ番組部門	第2位		
第36回NHK杯宮崎県高等学校新人放送コンテスト	放送部	ラジオ番組部門 第3位 アナウンス部門 第4位	山田 捺加 島田 知佳 坂元 菜々	
	空手部	女子個人組手九州南ブロック	第3位	
	吟詠剣詩舞部	全国大会選抜賞		
第33回全九州高等学校空手道新人大大会	空手部	優秀賞		
第37回全国高等学校総合文化祭長崎県大会	家庭クラブ	最優秀賞(第一席)	橋本 千鶴	
第41回宮崎県高等学校家庭クラブ研究発表大会	家庭クラブ	優秀賞	新地 純奈	
西日本読書感想画コンクール宮崎県支部	図書部	最優秀賞	松元 結城	
"公益社団法人みやぎ被害者支援センター一行詩「いのちのこえコンテスト」"	国語科	入選	野中 康平	
	個人	署長賞	高橋 春香	
	個人	署長賞	高橋 春香	
	個人	団体賞	黒木 陽介	
税に関する作文コンクール	個人			